中学地理プリント（基礎確認）
日本の資源と産業 No.7

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

得点 ／15

1回目　2回目

1 関東地方から九州にかけて、日本の製造業が集中している沿岸地域を何という？

① 中央高地　② 日本海側　③ 北九州工業地帯　④ 太平洋ベルト

2 京浜工業地帯などで、かつての重化学工業からシフトして集積が進んでいる、高度な技術を要する産業を何という？

① 先端技術産業　② 繊維工業　③ 鉄鋼業　④ 食品工業

3 河川の勾配や水量を利用し、ダムなどで水をためてタービンを回す発電方法を何という？

① 風力発電　② 水力発電　③ 地熱発電　④ 太陽光発電

4 近郊農業において、収穫した作物を短時間で市場へ届けるために主に用いられる輸送手段は何？

① 航空輸送　② 鉄道輸送　③ トラック輸送　④ 船便輸送

5 温暖な気候を利用して、通常よりも早く野菜を収穫する栽培方法に最も適している地域はどこ？

① 日本海側　② 中央高地　③ 瀬戸内側　④ 太平洋側

6 稚魚や稚貝を人の手で育ててから海に放流し、成長してから捕獲する手法を何という？

① 栽培漁業　② 養殖業　③ 沖合漁業　④ 遠洋漁業

7 現在、阪神工業地帯において大阪府から兵庫県にかけて集積している、石油精製やプラスチック製品などを作る工業を何という？

① 繊維工業　② 機械工業　③ 化学工業　④ 鉄鋼業

8 生産された作物を大都市などの消費地へ流通させるために経由する、卸売の拠点となる場所を何という？

① 工場　② 市場　③ 倉庫　④ 農協

9 1985年に先進5か国がドル安・円高へ誘導することに合意した出来事を何という？

① ブレトンウッズ協定　② スミソニアン協定　③ ルーブル合意　④ プラザ合意

10 冬の寒さを防ぎ、気温をコントロールして促成栽培を行うために積極的に利用される設備を何という？

① ビニールハウス　② トラクター　③ コンバイン　④ スプリンクラー

11 旬の時期以外にも出荷量を安定させるため、ガラスやビニールハウスなどを使って栽培することを何という？

① 酪農　② 施設園芸農業　③ 畑作　④ 稲作

12 促成栽培が盛んで、京浜や京阪神といった大都市へ野菜を出荷している四国の県はどこ？

① 群馬県　② 長野県　③ 高知県　④ 北海道

13 かつて大阪湾周辺で、繊維製品などの製造を中心に発展した工業を何という？

① 造船業　② 食品工業　③ 鉄鋼業　④ 綿工業

14 貿易摩擦を解消するために、日本企業が消費地の近くに工場を建設して生産を行うことを何という？

① 現地生産　② 輸入制限　③ 委託生産　④ 輸出拡大

15 火山の地下にあるマグマの熱を利用して発電する方法を何という？

① 風力発電　② 地熱発電　③ 太陽光発電　④ バイオマス発電

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「日本の資源と産業」のプリント一覧がひらきます